

【様式】

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名( 明野高等学校 )

1 めざす姿

<p>(1)めざす学校の姿</p>	<p>○農業、衣・食、福祉の専門高校として、それぞれの分野の専門的知識・技能の習得に取り組み、卒業後に実社会で活躍できるように主体的に行動できる人材の育成 ○地域産業との連携を推進し、地域から信頼されるとともに、地域から必要とされる人材の育成</p>
<p>育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】</p>	<p>○各分野の資格等を積極的に習得し、専門知識や技能を生かし、自立した社会人として地域に貢献し、地域を支え、地域とともに生きていくことができる生徒 ○様々な課題を自分事として捉え、主体的に行動し、自己実現を図ることができる生徒 ○学ぶ楽しさを知り、社会的・職業的自立に向けた取組ができる生徒 ○社会人としてのマナーを身につけるとともによりよく生きる力を自ら育むことのできる生徒</p>
<p>(2) ありたい教職員の姿</p>	<p>○生徒一人ひとりの発達段階に応じたきめ細かな指導を心がけるとともに、「深い学び」につながる授業力向上に向けた自己研鑽に励み、相互協力し、積極的にカリキュラムマネジメントに参加する教職員 ○すべての教育活動で生徒の良さを引き出し、成長を自らの喜びとして、いきいきとやりがいを持って働くことのできる教職員 ○目指す学校像や育みたい生徒像の実現に向け、主体的に課題発見、解決、改善に取り組む教職員</p>

2 現状認識

<p>(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待</p>	<p>〈生徒〉 ○学力の向上 ○将来役立つ実践的で専門的な知識・技能の習得や資格の取得 ○学校教育において身につけたスキルを活かす経験や体験の機会の提供 ○自己肯定感を涵養する授業 ○学校行事、部活動等における充実した楽しい学校生活 ○校則の見直しなど、主体的に学校生活にかかわる機会の創設 ○教員との信頼関係の構築 ○進路実現に向けた丁寧な進路指導</p> <p>〈保護者〉 ○学力の向上 ○安心して子どもを通わせることのできる学校 ○子どもを通わせて誇らしいと思える学校 ○成長と自己実現のための教育 ○社会性の向上や良好な人間関係を築く力の育成</p> <p>〈地域社会〉 ○地域に根差して活躍できる誠実で真面目に取り組む人材の育成 ○地元の産業を支え、地域の活性化に貢献できる人材の育成</p>
-----------------------------------	---

		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○進路指導・進路支援</li> <li>○進路に役立つ検定・資格の取得</li> <li>○わかりやすい授業</li> <li>○すべての生徒が安心して安全に学校生活を過ごせるための指導</li> <li>○子どもについての早目の情報共有</li> </ul> <p>〈地域〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域行事への生徒の参加</li> <li>○地域連携事業等におけるかかわり</li> <li>○挨拶やマナー等の規範意識の指導</li> <li>○生徒の学習や教育活動の見える化</li> </ul>	<p>〈家庭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動への理解と協力</li> <li>○子どもにとって安心できる家庭</li> <li>○基本的な生活習慣の指導</li> <li>○安全に実習等を行えるよう、朝食や睡眠に関する指導</li> <li>○マナー等社会性についての指導</li> <li>○SNS等の家庭における指導</li> <li>○主体性を身に付けさせるための見守りとかかわり</li> <li>○学校との連携と協力</li> <li>○子どもについての早目の共有</li> <li>○学びに向かう姿勢への声掛け</li> </ul> <p>〈中学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎学力の定着</li> <li>○明野高校の特徴などを踏まえた進路指導</li> <li>○交流なども含めた連携と情報共有</li> </ul> <p>〈地域社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の活動や歴史への理解</li> <li>○職場体験やインターンシップ等の機会の提供</li> <li>○継続的なかかわりと学校への応援</li> </ul>
(3) 前年度の学校関係者評価など		<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業時のクロムブックの使い方を工夫し、生徒が意見を発言する場面をより多く取ってほしい。</li> <li>○校則の見直しが進んでいる。今後、生徒がわかりやすい校則になることを期待する。</li> <li>○HP等での情報発信が進んだ。さらに積極的な発信が必要である。</li> <li>○学校が地域等に望むことを、具体化してほしい。</li> </ul>	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学ぶ意義や学び方などの理解と学ぶ意欲の育成</li> <li>○実践的・体験的な学習</li> <li>○体系的・系列的な理解の上での関連する技術の習得</li> <li>○自ら課題を発見し解決する主体的な課題解決能力育成のための探求的な活動</li> <li>○生徒同士が互いに認めあい・励ましあい・支えあえる学習集団作り</li> <li>○丁寧な指導に対して保護者の高い満足度とその継続</li> <li>○生徒一人ひとりの個性の発見とよさや可能性の伸長</li> <li>○社会的資質・能力の発達のための教育</li> </ul>	
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門人材の活用も含めた組織的な対応</li> <li>○すべての教職員がやりがいをもって健康に働くことができるような職場づくり</li> <li>○教職員相互の対話を大切にす環境づくり</li> <li>○専門教科と分掌業務についての知識・理解の向上のための研修等の機会</li> </ul>	

### 3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力の向上のための授業と学びに向かう力の育成</li> <li>○社会を支え産業の発展を担う職業人の育成</li> <li>○生徒の自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力ある学校づくりとその発信</li> <li>○コンプライアンス意識の高い教職員と信頼される学校づくり</li> </ul>

### 4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<p>〈生産科学科、食品科学科、生活教養科、福祉科共通〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣及び社会性が身につけている者</li> <li>○ スポーツや文化活動等に優れており、入学後も継続して活動する者</li> </ul> <p>〈生産科学科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来、農業自営者となり、地域のリーダーを目指す者</li> <li>○ 動植物の飼育・栽培に興味・関心があり積極的に実習に取り組むことができる者</li> <li>○ 農業に関連した職業や農業関連学科への進学を目指す者</li> <li>○ 資格取得や検定合格に積極的に取り組むことができる者</li> </ul> <p>〈食品科学科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来、食品関連会社で製造や研究に取り組む技術者を目指す者</li> <li>○ 食の安全への意識が強く、清潔な身なりや整理整頓ができる者</li> <li>○ 与えられた仕事を最後までやり遂げる忍耐力と責任感がある者</li> <li>○ 資格取得や検定合格に積極的に取り組むことができる者</li> </ul> <p>〈生活教養科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 衣・食に興味・関心があり、高校生活にしっかりと目的・目標をもつ者</li> <li>○ 将来、専門性を生かした就職や進学を目指す者</li> <li>○ 全ての教科に対して、真面目かつ意欲的で、資格取得に積極的に取り組むことができる者</li> </ul> <p>〈福祉科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福祉に興味・関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる者</li> <li>○ 将来、福祉分野で活躍しようという希望をもっている者</li> <li>○ 資格取得に積極的に取り組むことができる者</li> </ul>
--	--

### 5 本年度の行動計画と評価

#### (1)教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1)教職員の授業力向上および授業改善に取り組み、わかる喜びを感じることににより、自己肯定感向上を目指す。</p> <p>(2)学力向上と将来必要となる資格取得に取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT を積極的に活用する。</li> <li>・ 専門性をいかした進学を見据えた学習指導をする。</li> <li>・ 発表会等へ出場する機会を提供する。</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	◎ ※ ※

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門に関する資格取得等を促す。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自己肯定感アンケート「自分に自信がある」7割以上</li> <li>・生徒自己肯定感アンケート「難しい事にも挑戦する」7割以上</li> <li>・各学科で生徒一人1つ以上の資格等取得</li> </ul>		
キャリア教育の充実	<p>(1) 自分の進路希望実現に向けた進路選択ができるよう指導・助言を行う。</p> <p>(2) 社会的・職業的自立について理解し、自己実現に向けて主体的に取り組んでいく力を育む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンスの実施各学年年間2回以上</li> <li>・キャリアプラン（外部講師による講義）実施年間10回以上</li> <li>・インターンシップの受け入れ企業等との更なる充実と継続的な実施。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の希望する進路先への決定率10割</li> <li>・生徒のインターンシップ満足度8割以上</li> <li>・自己肯定感アンケート「自分には人以上の能力がある」5割以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	◎  ※
生き生きとした学校生活	<p>(1) 個々の生徒の発達段階に応じたきめ細かな支援に努め、生徒が心身の健康を自己管理できる能力の育成を目指す。</p> <p>(2) 互いに尊重しあい、違いを認めあうとともに、生徒一人ひとりの自尊感情を高め、自己実現を図ることができるよう努める。</p> <p>(3) 個別面談や生徒会行事等を通して、生徒個々への充実した対応、支援を目指す。</p> <p>(4) 基本的な生活習慣の確立および社会人としてのマナーを身につける。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりの発行毎月1回以上</li> <li>・教育相談だよりの発行年間2回以上</li> <li>・いじめへの迅速かつ組織的な対応を行う。</li> <li>・生徒会が中心となり校則の見直しを行う。</li> <li>・人権LHRの継続的な見直しと改善</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感アンケート「今の自分が好きだ」7割以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	◎  ◎  ※
改善課題			
(年度末に記載)			

項目	取組内容・指標	結果	備考
危機管理の推進	<p>現実に即した危機管理体制を構築する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルの充実及び地域と連携した防災への取組</li> <li>・報告・連絡・相談と発生事案への早期対応・早期解決</li> <li>・信頼される教職員集団づくりへの取組と学校信頼向上委員会の開催。(月1回程度)</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	◎
開かれた学校づくりの推進	<p>(1) 学校ホームページや公式インスタグラムによる情報提供</p> <p>(2) 地域の事業所および他校種、住民との連携による地域の活性化と話題の提供</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事ごとのホームページの更新</li> <li>・公式インスタグラムのタイムリーな更新</li> <li>・中学生の保護者等向け学校説明会の実施</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの月1回以上更新</li> <li>・報道提供月1回以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	※ ※
働きやすい職場環境づくり	<p>個々の教職員のワークライフバランスが保てるように働き方や業務の見直しを進め、計画的に業務を遂行し、過重労働の減少、年次有給休暇取得日数の増加、部活動時間の縮減等を図り、働きやすい職場環境を実現する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退校日…1日/月設定</li> <li>・定時に退校できる職員の割合(95%)</li> <li>・部活動休養日…1日/週設定。(予定通り休養日を設定した部活動の割合100%)</li> <li>・1時間以内に終了する会議の割合(90%)</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当りの月平均時間外労働時間減少(15時間以下)</li> <li>・月45時間を超える時間外労働者(0人)</li> <li>・年360時間を超える時間外労働者(0人)</li> <li>・一人当りの年間休暇取得日数増加(15日以上)</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	※ ※  ※ ※
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)